

2020年9月18日

各 位

会 社 名 データセクション株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 林 健 人
 (コード番号：3905 東証マザーズ)
 問い合わせ先 取締役 CFO 望 月 俊 男

業績予想の公表に関するお知らせ

2020年8月14日に公表いたしました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

当期の連結業績予想数値（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想（B）	1,300 ～1,500	△50 ～80	△60 ～70	△83 ～3	△6.09 ～0.23
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 （2020年3月期）	1,168	14	5	△17	△1.40

2. 業績予想の理由

2021年3月期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が当社の2021年3月期の業績に与える影響の適正かつ合理的な予測は非常に困難であるとして未定としておりましたが、日本やチリにおいては経済活動が段階的に再開していることから、2020年4月から6月の業績や現時点において入手可能な情報をもとに業績予想を算定いたしましたので公表

いたします。なお、新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えず、今後の事業活動への影響を信頼性の高い数値として算出することが困難であることから、連結業績予想をレンジ形式にて算定しております。

当社の業績に関しては、特に「FollowUP」(※1)において、国内の営業を自粛した店舗に対して行うディスカウントや海外でのロックダウンによる顧客店舗の強制的な閉鎖等により一時的な影響が生じることが予想されますが、当社としては、この苦境を追い風とし、さらなる事業拡大を図るべく、様々な施策を展開してまいります。

具体的には、「FollowUP」において、派生サービスとして6月に提供開始いたしました新型コロナウイルス感染症対策ソリューション(※2)について拡販施策を行い引き続き「新しい生活様式」から発生する需要に対応いたします。また、大手ショッピングモール事業者とのアライアンスによるショッピングモールへの拡販施策の実施や公共交通機関や公共施設等の小売領域以外の領域への進出施策等も実施いたします。これらの施策の進捗度合いや新型コロナウイルス感染症の影響の度合い等を算定の基礎として上記のとおり連結業績予想を算定いたしました。

なお、上記の業績予想については、再度の大規模な営業自粛要請やロックダウンによる経済活動の停滞については想定しておらず、実際の業績等とは異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせいたします。

- ※1 「FollowUP」は、小売店舗に設置したAIカメラで取得する画像・動画データから店前通行量・入店客数をカウントし、店舗毎のPOSデータと掛け合わせることで購買率の向上を支援するストック型のサービスです。
- ※2 小売業者の新型コロナウイルス感染症対策を支援するため、店舗内の人数を可視化し、入り口にて入店の可否を表示することで入店制限の自動化を支援する「Store Capacity Control」、店舗入場者の発熱やマスク着用の有無を検知し、店舗スタッフの入退室を顔認識で管理することで万が一スタッフが感染者が発生した場合に、いつどの店舗にいたかのトレーサビリティを実現する「HealthyUP」、店舗内で実施する消毒などの感染対策オペレーションのスタッフ教育が行えるeラーニングと、日々の感染対策オペレーションの確実な実行を支援するタスキング機能を提供する「COVID-19 Tasking」などのサービスを提供しております。
- ※3 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

以上